

A. 日 時 2016年12月19日 月曜日 17時30分～19時30分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本主査、他10名

D. 提出資料

No. 14-01 : 14_01_第13回環境振動性能評価小委員会_議事録案

No. 14-02-1 : 小委員会廃止申請書

No. 14-02-2 : 小委員会設置申請書

No. 14-02-3 : 2017年度委員会活動計画案

No. 14-03 : 環境振動シンポジウム風振動原稿提出案

No. 14-04 : 20161219 見える化 WT

No. 14-05 : 振動表現 20161114 石川研追加

No. 14-06 : 北方建築総合研究所 振動試験体験報告

E. 審議事項

1. 議事録確認

資料 14-01 「第13回環境振動性能評価小委員会 議事録（案）」について報告

A) 前回委員会議事録内容の確認

→ 承認された

2. 運営委員会活動報告

A) 運営委員会報告ならびに資料 No. 14-02 に関して報告

※ 次年度以降の当小委員会について

→ 当小委員会は本年度で廃止、次年度以降は新たな小委員会として活動を行う

→ 新設の小委員会主査は鈴木委員とする（幹事は今後検討）

→ 新たに新委員1名参加

※ シンポジウムについて

→ 2017年1月27日（金）13:30より開催、タイトルは「性能マトリクスを用いた環境振動設計」

→ 設計を主体としながら、評価に関する発表も行われる

→ 「評価軸の概要」にて、風振動：鈴木委員、歩行振動：井上氏（竹中工務店）、交通振動：松本委員が発表

3. 議論

A) 資料 No. 14-03 「環境振動シンポジウム風振動原稿提出案」に関して報告

※ シンポジウムの発表原稿案について

- 「はじめに」にて居住性能評価指針の変遷を示す
- 新指針の基本的な考え方は、1) 加振源によらない、2) 広義な快適性、3) コンバイン、4) 継続性、5) 評価曲線はモデル化、6) 心理量（不快等）の取り入れ
- 風振動の対象は 2.5Hz 以下の水平振動のみとし発表を行う
- 風振動では、再現期間の細かな設定（2年/5年/10年等）が難しい

B) 資料 No. 14-04 「20161219 見える化 WT」、ならびに資料 No. 14-05 「振動表現 20161114 石川研追加」に関して報告

※ 説明性 WT 活動報告

- 学会以外での説明補助資料としての活用を期待し、口語表現/図示表現を収集
- 各表現を振動数（高/低）、鉛直/水平の特性ごとに分類し一覧の図として表現することが目標
- 取りまとめた結果を戸建 WG（3月6日予定）に提出し、意見を拝聴

C) 資料 No. 14-06 「北方建築総合研究所 振動試験体験報告」に関して報告

※ 北方建築総合研究所での振動感覚実験について

- 鉛直水平同時加振条件における被験者実験、「認知大きさ尺度」「気になる具合尺度」「快適性尺度」に関するアンケートを行った
- 鉛直/水平のコンバイン効果が示唆される解析データも得られた
- 次回の小委員会にて、より解析を進めた結果の報告を行う予定

4. 次回以降の課題

- ※ 「居住性能評価指針」と「設計指針」の位置づけについて、評価指針への提言
- ※ 評価 WG での活動内容の報告
- ※ 水平振動と鉛直振動を分けて考えているが、コンバイン効果等はあるのか
- ※ 環境振動の見える化
- ※ 北方建築総合研究所での振動感覚実験の結果について
- ※ 環境振動に関するホットな話題を随時募集

次回の小委員会は、2017年2月28日17時半より行われます。ご参加よろしくお願いたします。

また、次回小委員会において資料を提出される方は、あらかじめ準備(14部)されるか、もしくは2日前までに当小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願いたします。